

平成28年度 十文字元気プロジェクト採択一覧

十文字学園女子大学

No.	プロジェクト名称	代表者	構成員	担当教員	プロジェクト概要
1	十文字 元気！ 寄席	人間発達心理学 科 13JC069 紫村 文佳	8名	人間発達心理学 科 風間 文明	落語という日本の伝統文化について理解を深めることと、落語を通して、表現力・コミュニケーション力を身に付けることを目的とする。定期的に落語の勉強会を行い、落語を音読し、様々な噺を知るとともに、わからない言葉や風俗、習慣について調べ、メンバー間で共有する。これらの活動を行うとともに、実際に都内の寄席で落語を見学し、落語への理解を深める。メンバーは各自噺を暗記し、「十文字元気！寄席」として発表を行い、成果報告をする。
2	ゴミ撃退プロジェ クト	生活情報学科 14JF062 南雲 ひとみ	6名	メディアコミュニ ケーション学科 石野 栄一	ゴミのポイ捨ての減少、交通事故の恐れのある場所の改善など、生活環境の改善を目指す。具体的にはポスター掲示での啓蒙活動の他、住民参加のゴミ拾い及び交通事故の恐れのある場所を発見するイベントを実施する。イベントを数回実施しながら、12月下旬に開催される「全国大学生環境活動コンテスト」に出場し、上位入賞を目指す。
3	さともんと行く情 報発信の旅！	人間福祉学科 14JE002 阿左美 愛帆	4名	人間福祉学科 佐藤 陽	熊本にて震災支援のボランティア活動を行うとともに、被災地の農家の方々と交流を持つ。農家から熊本産の農作物を購入し、それを地域イベント等で販売する。売上を復興支援に行っている団体に寄付することにより、復興支援の一助となることを目指す。新聞を定期的に作成し、埼玉にて熊本に関する情報発信活動を行い、熊本への関心を高める。
4	新座の野菜でニ コニコランチ～野 菜スタンプで遊ぼ う	食物栄養学科 14JD105 船水 理央	65名	食物栄養学科 小林 三智子	地産地消を促すため、新座市内の食材を活かした料理を試食会にて提供する。幅広い世代が同じ空間で食事することにより、地域住民との交流を深める。次に、ニコニコ農園部では、野菜の生育から収穫まで行っており、できるまでの過程を伝え、野菜嫌いの克服に繋げる。また食事をすることは、生命の摂取し、自身の活動源になることを伝えて、食の尊さの意識を持ってもらう。
5	七夕ゆかたeve フェス2016	文芸文化学科 15KG005 内山 詠美里	7名	語学教育セクター シーラ クリフ	伝統文化を「表現」「再発見」という観点から、文芸文化・メディアの学生を中心に、七夕を表現する日とする。地域住民や、日本文化に興味を持つ外国人の皆様にも参加していただき、交流を活発に行いたい。また、学友会の七夕ティーパーティーとも連携・協力する。学生が自ら企画運営することで様々な協働が生まれ、学生の十文字に対する誇りを作るとともに、自己成長できるイベントを目指す。
6	ユネスコ世界遺 産和紙×小川七 夕まつりサポート プロジェクト	メディアコミュニ ケーション学科 14JG035 有田 佳予	15名	文芸文化学科 松永 修一	2011年から4年間小川町七夕まつり実行委員会のお手伝いをしており、小川町商工会との信頼関係は益々深まっている。本プロジェクトは、メディアの学生や留学生も一緒になって、日本の伝統的なお祭りの準備や当日の体験を中心とした国際交流の場としても位置付けている。またがユネスコの世界文化遺産として登録された小川町の和紙(細川紙)を、日本の伝統文化の伝承のアピールとして、小川町役場と一緒にイベント運営のサポートも行う。